

千葉市長 神谷俊一様

令和6年度千葉市入札適正化・苦情検討委員会の審議について

千葉市入札適正化・苦情検討委員会は、令和6年度において定例会議を3回開催し、千葉市の発注した工事について、入札及び契約に係る事務における公平性の確保並びに客観性及び透明性の向上を図るための審議を行ったので、下記のとおり結果を報告する。

記

1 審議対象

千葉市が発注した工事に関し、入札・契約手続の運用状況及び入札・契約制度の改善状況等の報告を受け、一般競争入札の入札参加資格設定理由、指名競争入札の指名理由及び随意契約の相手方の選定理由等について審議した。

2 審議経過及び審議結果

令和6年度中に本委員会を次のとおり開催し、千葉市から入札及び契約手続の運用状況等や抽出案件の説明を受け、慎重に審議を行った結果、入札及び契約に係る事務は適正に処理されていることが認められた。

令和6年	8月26日	第1回委員会	審議案件	8件
令和6年	11月21日	第2回委員会	審議案件	8件
令和7年	2月27日	第3回委員会	審議案件	6件

3 意見

本委員会は、令和6年度発注案件の中から各委員が抽出した案件22件について審議を行い、入札及び契約事務が適正に処理されていることを承認した。

本委員会の審議内容を踏まえ、千葉市が入札及び契約制度の改善に積極的に取り組んでいることは評価できるところであり、今後も入札契約制度について、常に現状を把握し、公平性、透明性及び競争性を確保され、制度の目的が達成されているかを検証しながら、より効率的な改善に努められたい。

令和6年度は、時間外労働の罰則付き上限規制の適用や第3次担い手3法の成立など、持続可能な建設業に向けた環境整備が図られたが、人手不足は引き続き深刻な状況である。

本市の入札不調の発生率は高止まりの状況であり、また、落札決定した案件であっても申請者や入札者が少数であったケースも見受けられた。

技術者不足や資材価格の高騰、協力会社の確保が困難等の現状を踏まえ、入札の競争性をより確保できるよう、受注意欲を高め、多くの事業者に入札参加を促す方策を検討されたい。

令和7年2月27日

千葉市入札適正化・苦情検討委員会

委員長	森	雅彦
委員	大内	浩之
委員	大川	優子
委員	大久保	佳織
委員	望月	悦子